銘柄コード 7564

# 2016年3月期 決算説明会



株式会社 ワークマン 2016年5月6日 開催

## ご説明内容



·2016年3月期決算の概要 ······ P3~P8
・今後の戦略について ·····・ P9~P12
・2017年3月期決算の見通し・・・・・・ P13~P20
・2016年3月期決算の詳細 ・・・・・・ P21~P26





## 2016年3月期決算の概要

今後の戦略について

2017年3月期決算の見通し

2016年3月期決算の詳細

## 決算概要



<単位:百万円、%>

	2015年	E3月期	2016年3月期			
	金額	前期比	実績	前期比	予想	予想比
チェーン全店売上高	69,185	+0.6	71,465	+3.3	72,333	Δ1.2
(既存店売上高)	_	△0.9	_	+2.2	(+3.0)	(∆0.8)
営業総収入	48,426	+0.6	49,577	+2.4	50,247	△1.3
販売費及び一般管理費	8,302	+2.0	8,367	+0.8	8,515	△1.7
営業利益	8,339	△0.5	8,807	+5.6	8,749	+0.7
経常利益	9,469	△0.4	9,948	+5.1	9,901	+0.5
特別損失	19	△52.8	8	△54.1	29	△70.0
当期純利益	5,876	+5.2	6,233	+6.1	6,324	△1.4
1株当たり当期純利益	144円	02銭	152円75銭		154円	98銭

<sup>※ 1</sup>株当たり当期純利益は2016年4月1日付株式分割により修正値を表示しております。

<sup>※ 2016</sup>年3月期の予想数値は、2015年4月30日に公表しました数値です。

## 決算のポイント



#### 出店状況

- ■開店 18店舗、スクラップ&ビルド(既存店舗の活性化)7店舗、閉店 1店舗 ・大分県・沖縄県に初出店、44都道府県下にネットワーク拡大
- **2016年3月末 766店舗(前期末比+17店舗)**

#### 店舗運営形態

- <mark>■</mark>フランチャイズ・ストア(FC店舗)2016年 3月末 653店舗(前期末比+12店舗)
- ■直営店:業務委託店舗 82店舗、トレーニング・ストア 31店舗 合計113店舗
- ■フランチャイズ・ストア比率 85.2%(前期末比△0.4ポイント)

#### 販売状況

**重点販売PB商品** 

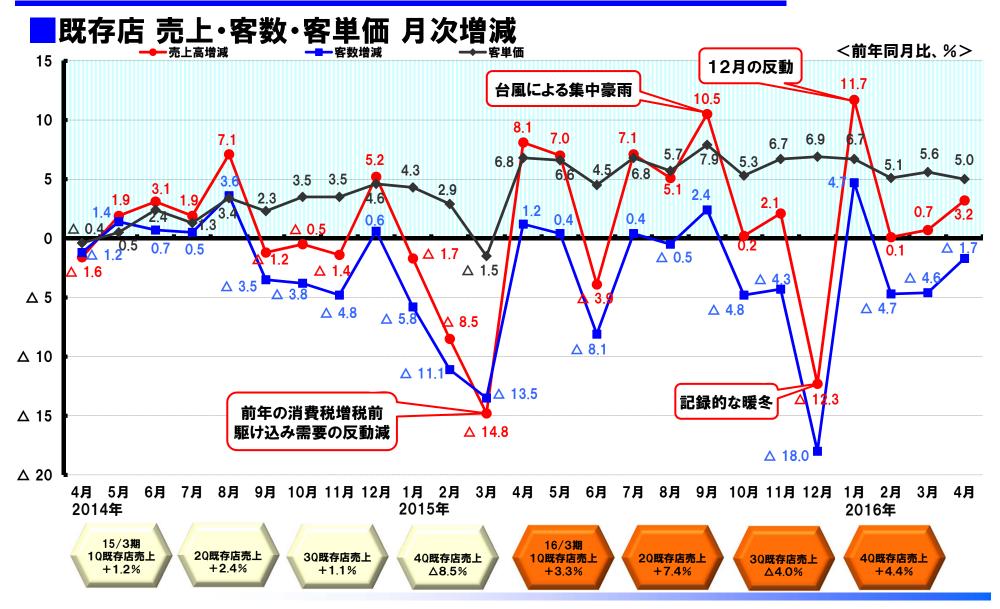
春夏:「ダブルメッシュシリーズ」、「透湿レインスーツSTRETCH」 秋冬:「エアライトSTRETCH防寒ブルゾン」、「裏アルミジャンパー」

- ■店舗外装変更・商品訴求力を高めた売場づくり・メディア戦略を推進
- プライベート・ブランド(PB)商品 513アイテムを展開
  - ・PB商品の売上高 145億 81百万円(前期比 +26.4%)、PB比率20.5%



## 月次推移と要因





## 販売状況



#### チェーン全店売上高 714億円 客数 2,818万人

<前期比、%>

	=	▽削州仏、20/
	チェーン全店	既存店
売上高	+3.3%	+2.2%
客数	Δ2.5%	Δ3.6%
1日当たり平均客数	1	108人
客単価	2,535円	2,540円
1 4 年 1111	+5.9%	+5.9%
1品単価	944円	945円
一品半個	+59円	+59円
4   \ \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	2.7点	2.7点
1人当たり買上点数	△0.0点	△0.0点

<sup>※1</sup>日当たり平均客数は、運営形態により営業日数が異なる為、 概数を記載しています。



※2015年3月期以前の平均年商及び平均来店客数は各期 毎に発表した数値を使用しており、対象店舗は2016年3 月期の既存店舗とは異なります。

## 商品別売上高と要因



#### ■チェーン全店商品別売上高

<単位:百万円、%>

商品別	2015年	3月期	2016年	3月期	<b>#</b> 🖂
IEU AA 733	売上高	前期比	売上高	前期比	要 因
ファミリー衣料 肌着・靴下・帽子・タオル・ エプロン等	6,647	+0.0	6,799	+2.3	ショートソックス 前期比+19.7% メッシュ靴下 前期比+15.7% 肌着 前期比+12.2%
カジュアルウエア ポロシャツ・Tシャツ・ハイネック シャツ・ブルゾン等	7,165	+5.8	7,394	+3.2	半袖ポロシャツ 前期比+17.5% 長袖ポロシャツ 前期比+7.8% 長袖ハイネック 前期比+7.5%
ワーキングウエア 作業ジャンパー・作業ズボン・ つなぎ服・鳶衣料等	19,256	∆1.5	19,783	+2.7	サマー長袖シャツ 前期比+11.2% 防寒ジャンパー 前期比+10.4% 低価格作業ズボン 前期比+6.9%
履 物 安全靴・安全スニーカー・地下足袋・長靴・厨房シューズ等	14,151	Δ1.4	14,421	+1.9	長靴 前期比+12.7% セーフティシューズ 前期比+9.3%
作 業 用 品 軍手・革手袋・加工手袋・合羽・ ヘルメット・マスク等	20,011	+2.7	20,992	+4.9	レインスーツ 前期比+22.3% 作業手袋 前期比+3.5%
そ の 他 食品白衣・オフィスユニフォーム・ 不織布作業服・オンラインストア等	1,952	△2.1	2,075	+6.3	不織布作業服 前期比+6.4% 食品白衣 前期比+6.0%
合 計	69,185	+0.6	71,465	+3.3	



#### 2016年3月期決算の概要



2017年3月期決算の見通し

2016年3月期決算の詳細

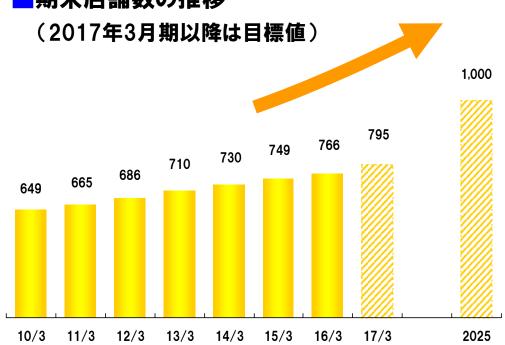
## 出店戰略



#### ドミナント・エリア化の推進で個店売上の向上を図る

- ■2025年に1,000店舗を展開し日本全国どこでも購入できる店舗展開を目指す
- ■年商2億円を目指す売場面積120坪店舗の構築
- 土地リース契約主体で出店速度アップ







## 商品戦略



#### プライベート・ブランド(PB)商品の開発を拡大

- <mark>「</mark>より良いものをより安く」
- ■PB商品「WORKMAN BEST」の開発で他社と差別化を図る
  - ・PB比率 30%達成を目指す
  - ・作業用だけでなく、スポーツ・アウトドアに使用可能な機能性商品の低価格化を推進









レインスーツ バイカーズ上下組 5.800円

肌サラ半袖・長袖シャツ 各980円

エアライトメッシュベスト 1.500円

エアライトパンツ 1,900円

## 物流・発注システム整備



#### PB比率30%達成と1,000店舗体制に向けて物流と発注システム強化

- **新伊勢崎流通センター建設(2017年2月稼働予定) 投資額約40億円** 
  - ●PB商品拡大
  - ・PB商品保管スペースの確保
  - ・流通センター内作業効率の向上
  - ・現伊勢崎流通センターと新伊勢崎流通センターの一体的運営で効率化を推進

#### ●1000店舗体制

- ・東日本をカバーする現伊勢崎流通センターのキャパシティは限界
  - →対応店舗能力 450店舗に対し店舗数 435店舗
- ・新伊勢崎流通センター対応店舗能力 600店舗
  - →竜王流通センター対応店舗能力 500店舗と合わせ1,100店舗まで対応可能
- **一発注システム強化・・・2018年3月期本格導入を目指す** 
  - ・店舗型需要予測発注システムの導入で発注作業の効率化を図る
    - →過去の販売データを基に発注推奨値をSKU単位で算出
  - ・発注精度の向上で販売機会ロス削減、適正在庫維持、店舗オペレーション軽減



#### 2016年3月期決算の概要

今後の戦略について



## 2017年3月期決算の見通し

2016年3月期決算の詳細

## 決算の見通し



<単位:百万円、%>

	-1- ler - led 4.9.1.97.1.05.						
	2016年3	月期	2017年3月	期予想			
	金額	前期比	金額	前期比			
チェーン全店売上高	71,465	+3.3	74,670	+4.5			
(既存店売上高)	_	+2.2	_	+2.6			
営業総収入	49,577	+2.4	51,913	+4.7			
販売費及び一般管理費	8,367	+0.8	9,157	+9.4			
営業利益	8,807	+5.6	9,278	+5.4			
経常利益	9,948	+5.1	10,459	+5.1			
特別損失	8	△54.1	50	+466.7			
当期純利益	6,233	+6.1	6,669	+7.0			
1株当たり当期純利益※	152円75	銭	163円45	銭			
期末営業店舗数	766店舗	Ħ	795店舗	ì			

<sup>※1</sup>株当たり当期純利益は2016年4月1日付 1:2 株式分割により、修正値を表示しております。

## 決算の見通しポイント



#### ワークマンプラスプロジェクトの推進で客層の拡大に取り組む

#### 販売計画

- ・チェーン全店売上高 746億円(前期比 +4.5%)
- ・既存店売上高前期比 +2.6%
  - 〃 客数前期比 +0.5%前後を想定
  - 〃 客単価前期比 +2.0%前後を想定
- ・ 上期チェーン全店売上高前年同期比 3.9%増、既存店前年同期比 2.6%増
- ・下期チェーン全店売上高前年同期比 5.0%増、既存店前年同期比 2.7%増

#### 利益計画

- ・フランチャイズ・ストア荒利率 35.7%を想定(前期比 0.1ポイント向上)
- ・ロイヤリティ収入 6億4千万円増加(前期比 6.4%増)
- ・当期純利益 66億円 前期比 +7.0%
- ・6期連続の過去最高益達成へ (純利益ベース)

## 出店計画



#### 2017年3月期計画

- ■開店 30店舗、クローズ 1店舗で、795店舗(前期末比 +29店舗)
- スクラップ&ビルド(既存店の活性化) 5店舗
- ■重点開発エリア→東京・神奈川・大阪・九州・沖縄

# 出店状況と重点開発エリア 出店地域(2016年3月末現在) 未出店地域 重点開発エリア

#### 地域別出店計画

<店舗数>

地	域	上期計画	下期計画	通期計画
北;	海 道	3	0	3
関	東	6	3	9
中	部	2	4	6
近	畿	2	2	4
中	国	3	0	3
九州	・沖縄	2	3	5
合	計	18	12	30

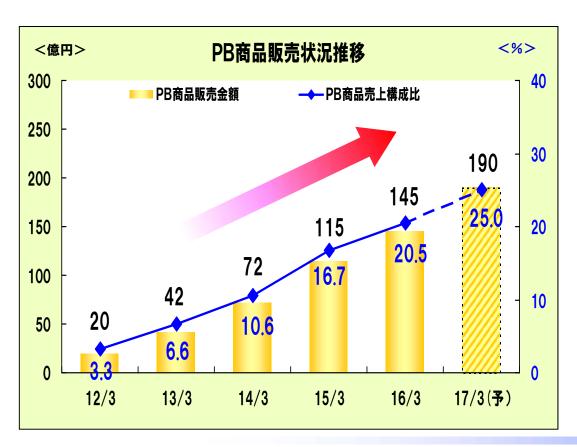
※スクラップ&ビルドは、上期4店舗、下期1店舗を計画しております。

## 商品政策



#### 2017年3月期計画

- ■PB商品売上高 190億、PB比率 25%計画
- ■春夏商戦のテーマ「着れば涼しい。 夏ラクしよう」
- **■アウトドア・スポーツなど客層拡大商品の開発を強化**





## 加盟店サポート強化



#### 加盟店サポート策

- ・販売データから分析した商品の品揃えや地域特性を生かした売場づくりを推進
- ・基本4原則(フレンドリーサービス・クリンリネス・商品マッサージ・こまめな発注)の徹底指導で

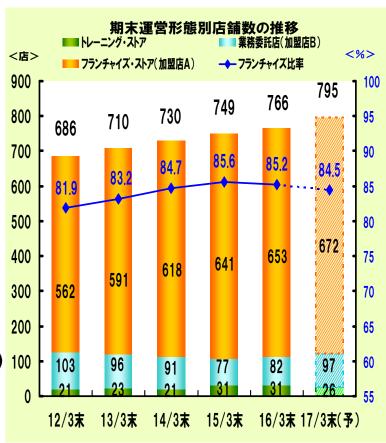
ベストオペレーション店舗の標準化

・発注・検品・品出しなど店内作業の軽減化

- ■個店売上の向上でフランチャイズ・ストア化を推進
  - ・2017年3月末フランチャイズ・ストア 672店舗
  - ・フランチャイズ比率 85%を目指す
  - ・運営形態変更計画

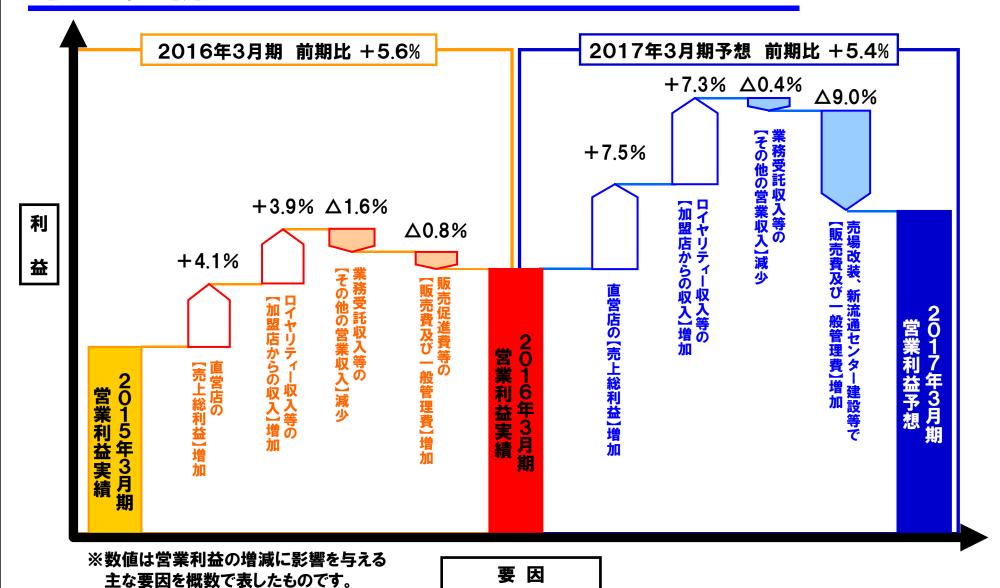
業務委託店(加盟店B契約)→フランチャイズ・ストア

(加盟店A契約)へ 10店舗変更(前期実績 13店舗)



## 収益分析グラフ

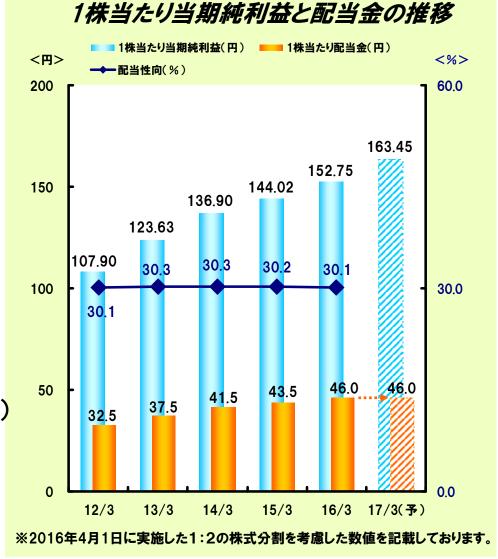




## 株主還元



- 基本方針
  - 当社は、株主の皆様に対して、適正な 利益配分を継続して実施することを 経営の重要課題と位置づけ、永続的な 成長を実現するために必要な内部留保 の充実を図りながら、業績に基づいた 利益の配分を行っております。
- 配当性向 30%を目処
- 1株当たり配当金
  - ・2016年3月期5円増配し92円を予定。(6期連続増配)
  - ・2017年3月期 2016年4月1日に実施した1:2の 株式分割により 46円を予想。





#### 2016年3月期決算の概要

今後の戦略について

2017年3月期決算の見通し



## 貸借対照表1



<単位:百万円>

資産の部	2015年 3月期末	2016年 3月期末	増 減	増 減 要 因
流動資産	40,208	43,496	3,287	
現金及び預金	28,028	31,161	3,132	
加盟店貸勘定	5,584	5,976	392	春夏商品の早期投入で1店舗当りの売価在庫152万円増 対象店舗が4店舗増加(591店舗→595店舗)
商品	5,500	5,273	△226	流通センター在庫が3億57百万円減少、 海外仕入の未着商品が83百万円減少、店舗在庫は2億14百万円増加
固定資産	16,640	17,574	934	
有形固定資産	9,595	10,856	1,260	
建物(純額)	4,018	4,406	388	出店・閉店状況 出店25店舗(S&B7店舗含む)、閉店1店舗
構築物(純額)	805	855	50	出店形態 建物リース4店舗、土地リース20店舗、O&P1店舗
土地	2,966	3,951	985	新伊勢崎流通センター用地購入代 9億8,560万円
リース資産(純額)	1,190	1,091	△98	当期対象店舗ナシ、償却のみ
その他(純額)	614	550	△64	
無形固定資産	350	363	12	販売分析系ソフトウエア1億28百万円取得 ソフトウエア1億16百万円償却
投資その他の資産	6,694	6,354	∆339	
長期前払費用	706	683	△23	
繰延税金資産	600	599	0	
差入保証金	5,379	5,059	△320	建物リース契約での地主への建設協力金の差入
資産合計	56,848	61,070	4,222	

## 貸借対照表2



<単位:百万円>

			- 十四・日/1117	
負債/純資産の部	2015年 3月期末	2016年 3月期末	増 減	増 減 要 因
流動負債	9,452	9,334	∆117	
買掛金·加盟店買掛金	3,809	3,473	∆335	チェーン全店仕入高 15年3月 45億88百万円 16年3月 45億74百万円
未払金	1,327	1,367	39	加盟店への顕彰金約20百万円増加、消耗備品費21百万円増加
未払法人税等	1,761	2,097	336	
未払消費税等	465	280	△185	
その他	2,088	2,114	26	
固定負債	3,352	3,318	△33	
リース債務	1,312	1,216	△95	当期対象店舗ナシ、借入金相当額の返済のみ
資産除去債務	845	889	44	
負債合計	12,804	12,653	△151	
株主資本	44,029	48,487	4,457	
純資産合計	44,043	48,417	4,373	自己資本比率79.3% 1.8ポイント向上
負債純資産合計	56,848	61,070	4,222	

## キャツシュ・フロー計算書



<単位:百万円>

	2015年3月期	2016年3月期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,660	6,871	2,210
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,896	△8,359	△4,463
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,775	△1,866	△90
現金及び現金同等物の増加額	Δ1,011	△3,367	△2,355
現金及び現金同等物の期首残高	26,040	25,028	△1,011
現金及び現金同等物の期末残高	25,028	21,661	△3,367

#### ■営業活動によるキャッシュ・フロー(前期との増減)

- ・税引前当期純利益で 4億 88百万円増加
- ・加盟店貸勘定では増加の減少で 2億 26百万円増加
- ・たな卸資産の減少で 11億 12百万円増加
- ・未払金の増加で 2億 89百万円増加
- ・法人税等支払額の減少で 7億 82百万円増加
- ・未払消費税等の減少で 6億 53百万円減少
- ■投資活動によるキャッシュ・フロー(前期との増減)
  - ・預入期間が3ヶ月を超える定期預金の支出で 35億円の増加
  - ・有形固定資産の取得による支出で 11億 60百万円増加
  - ・差入保証金の差入による支出で 3億 4百万円減少

## 損益計算書1



<単位:百万円、%>

	2015年	F3月期	2	2016年3月	期	増 減 要 因
	金額	百分比	金額	百分比	前期比	増減・要・因
営業収入	12,955		13,149		+1.5	
加盟店からの収入	9,605		9,934		+3.4	加盟店期中平均店舗数 当期646店舗、前期635店舗 11店舗増加 加盟店売上高 当期648億22百万円、前期629億23百万円 3.0%増加 荒利率・・・値入率の改善 当期35.6%、前期35.4% 0.2%向上
その他の営業収入	3,349		3,214		△4.0	国内メーカーからの仕入高(直貿仕入等を除いた)前期比 3.5%減で業務受託収入1億35百万円減少
売上高	35,471		36,428		+2.7	
直営店売上高	6,262	(100.0)	6,642	(100.0)	+6.1	直営店期中平均店舗数 当期110店舗、前期105店舗 5店舗増加
加盟店向け商品供給売上高	29,208		29,785		+2.0	加盟店売上高前期比3.0%増加
営業総収入	48,426	100.0	49,577	100.0	+2.4	
直営店売上原価	2,575	5.3	2,616	5.3	+1.6	
加盟店向け商品供給売上原価	29,208	60.3	29,785	60.1	+2.0	加盟店向け商品供給売上高と同額を計上
売上原価	31,784	65.6	32,402	65.4	+1.9	

## 損益計算書2



<単位:百万円、%>

	2015年	F3月期	2	016年3月	—————————————————————————————————————	
	金額	百分比	金額	百分比	前期比	増減要因
売上総利益	(3,686)	(58.9)	(4,026)	(60.6)	+9.2	海外直接貿易取引の増加による仕入コストの減少と 値入率の改善
営業総利益 (営業収入+売上総利益)	16,641	34.4	17,175	34.6	+3.2	
販売費及び一般管理費	8,302	17.1	8,367	16.9	+0.8	増減要因
営業利益	8,339	17.2	8,807	17.8	+5.6	
営業外収益	1,200	2.5	1,221	2.5	+1.7	
営業外費用	70	0.1	80	0.2	+14.2	
為替差損	4	0.0	13	0.0	+188.2	
経常利益	9,469	19.6	9,948	20.1	+5.1	
特別損失	19	0.0	8	0.0	△54.1	減損損失 スクラップ&ビルド及び閉店予定店13店舗、 遊休店1店舗で約8百万円
当期純利益	5,876	12.1	6,233	12.6	+6.1	

## 本資料お取扱に関してのお願い



- ■本資料は弊社をご理解いただくために作成したもので、弊社への投資勧誘を 目的としたものではありません。投資に関する決定は、投資家の皆様ご自身の 判断で行われるようお願い致します。
- ■本資料は正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、弊社は一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。
- ■本資料中の業績予想及び事業計画等の将来の見通しは、作成時点で入手可能な情報から作成しておりますが、事業環境が大きく変動することも考えられることから、実際の業績が見通しと大きく異なる可能性があることをご了承下さい。

# 説明会にご出席いただき

## ありがとうございました。



## 株式会社ワークマン

銘柄コード: 7564(JASDAQ)

お問い合わせ先:経営企画部IR室

TEL:03-3847-8190

E-mail:wm\_seibi@workman.co.jp

http://www.workman.co.jp/